

《第10号》 *** MEDLINE (R) 検索のコツ ***

前号から始まりました「検索のコツ」は、今号から MEDLINE (R) (以下 MEDLINE)、PubMed (R)、医中誌 Web の順に連載いたします。自分が必要とする論文に辿り着くためには、設定されているツールを巧く使いこなし、よりの確な情報を取り出すことが重要となります。

MEDLINE は米国国立医学図書館 (=NLM) が作成している医学・歯学・看護学分野の国際的文献データベース (=DB) です。医学用語や著者、雑誌名等から検索ができ、現在では 1950 年以降 (含む OLD MEDLINE)、約 70 ヶ国の主要雑誌 4,800 ほどのタイトルが収録されています。

MEDLINE を検索する上で、一番のコツは“MeSH (=Medical Subject Heading)”機能を利用することです。探したい文献の主題を表す表現は一つだけでなく同義語や類義語があるため、それらを手繰り寄せることにより、自分が求めている概念が MEDLINE 上でどのような表現 (言葉) で使われているかがわかり、さらに精度の高い検索へ導いていきます。入力画面でキーワードを入力し、Mapping を使えば、入力したキーワードに対応した MeSH 用語が自動的にリストアップされます。さらに Explode と Focus のチェックボックスを利用することで目的の文献に近づいていきます。

Explode は特定語が階層構造になっている MeSH 用語の下位語を含めて検索される機能で、Focus は論文の中心テーマにあたる Major MeSH と周辺テーマの Minor MeSH のうち、Major MeSH のみを抽出することができる機能となっています。また、MeSH には subheading といって各 MeSH 用語に共通で使うことができる治療や診断などの副標目があります。例えば、肝臓の免疫機能に関する文献が欲しい場合は MeSH:liver, subheading:immunology (=liver/IM)、白血病の免疫療法に関する文献が欲しい場合は”leukemia/TH (=therapy) and immunotherapy”で検索します。”leukemia/IM and immunotherapy”としない理由は、immunology という subheading は、診断 (DI=diagnosis)、予防 (PC=prevention & control)、治療 (TH) に用いられた免疫学的手法には用いないためです。Scope note という〈i〉のボタンをクリックすると用語の意味や使われ方の説明が記載されていますので、一読しておくとう便利です。また、Limit を使い、主要な雑誌に絞り込むこと (Core Clinical Journals) や、全文が見られる電子ジャーナルのみに限定する (Full Text) など、効率的に検索することができます。さらに、Auto Alert 機能を利用することで、DB が更新される毎に自動的に検索結果が届く便利な機能もあります。本学が契約している Ovid 社の MEDLINE は、見目のデザインもわかりやすく、操作しやすい画面なので、初心者にも使いやすい便利な検索システムです。この他、図書館 HP から MEDLINE → Ovid 検索マニュアルをご覧になって頂くとさらに詳しい使い方が掲載されています。

最後に、MEDLINE は学内限定の検索機能で、同時アクセス数が「6」となっております。他の利用者や、自分が使いたい時にアクセス出来ずに困ったりしないためにも、検索終了後は必ず Logoff して頂きますようお願い致します。

*** 図書館トリビア ***

図書館には様々な機関から刊行物が送られてきますが、蔵書として保管しないものは 2 階ロビーに展示しています。書庫の学術書に比べると、『Paris Match』などの娯楽誌や『学燈』『ちくま』といった文芸誌など気楽に読めるものも多く、たまに新刊の見本誌なども並びます。月に一度月末に入れ替えますので、気分転換に利用されてはいかがでしょうか。

メールマガジンに関する意見・質問は、運用係 unyo@lib.iwate-med.ac.jp まで。